

温泉を活かした健康づくりに関する協定について

～「温泉地を活用した多職種協働型の宿泊型介護予防・認知症予防事業」を通じた国民の健康増進と温泉地の活性化にむけて～

1. 実施体制

- ・公益社団法人日本理学療法士協会
(事業のプログラム開発等への協力)
- ・上田市 (事業実施に係る調整と地域振興、P R 等)
市内関係施設 (予定)
 - 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院
(ものわすれドックと予防エクササイズ (仮) の提供)
 - 鹿教湯温泉旅館共同組合等
(宿泊施設の提供)
- ・環境省 (助言・P R 等の協力)

2. 事業の目的

温泉地を中心とする地域の活性化
効果的な介護予防・認知症予防事業のモデル化

3. 事業の概要

鹿教湯病院にて認知症予防となるものわすれドックと予防エクササイズを同時に実施する。併せて鹿教湯温泉の宿泊などを組み合わせ、定期的なフォローアップと効果検証を行うことにより、温泉地の魅力を活かした健康づくりの取組を推進する。

宿泊型 (2泊3日) 予防事業



観光・宿泊施設
(鹿教湯温泉旅館共同組合)



日本理学療法士協会



医療機関
(鹿教湯病院)

多職種チーム
医師、保健師
管理栄養士
理学療法士
健康運動指導士等

ものわすれ
ドックと予防
エクササイズ
の実施

現時点での事業イメージのため、
今後変更する可能性が御座います。

1年間、参加者に対する継続支援および
効果検証のためのモニタリングを実施する。

